

「ミノ」「カモ」の古代-御野国戸籍から1300年-展

(1) 趣旨

御野国戸籍は、大宝2年(702)に作られた現存する最古の戸籍であり、なかでも加毛郡半布里戸籍は、美濃加茂市とも関係の深い史料です。

この御野国戸籍が作られて平成14年(2002)で1300年目になるのにあわせて、本企画展が開催されました。本展では「ミノ」「カモ」の古代史について、文献史料や古代瓦を中心に紹介し、解説しました。

ちなみに、この『「ミノ」「カモ」の古代』とは、「美濃国と加茂郡の古代」という意味であり、同時に、「美濃加茂市の古代」という意味でもあります。

(2) 会期 2002(平成14)年9月14日(土)～10月14日(月)＜31日間＞

(3) 観覧料 一般300円(200円)、小中学生150円(100円)

()は20名以上の団体料金及び、かるちすくらぶ料金

(4) 会場 企画展示室

(5) 展示点数 50点

(6) 関連行事

①講演会『戸籍が語る702年の「ミノ」「カモ」』

講師 新川登亀男氏(早稲田大学教授)

(2002年10月6日(日) 14:00～15:30/会場：緑のホール/参加料無料)

②ミュージアムトーク

(2002年9月15日(月)、9月23日(月) 11:00～12:00、14:00～15:00/会場：企画展示室/参加料：観覧料)

(7) 図録

『「ミノ」「カモ」の古代-御野国戸籍から1300年-』展示図録 A4判 31頁

